

8-6 特別緑地保全地区の概要

(平成28年3月31日現在)

地 域 名	指定年月日	所在地	面 積	樹林の特色
いまごめ 今米 特別緑地保全地区 (川中邸)	昭和59年 9月21日	東大阪市 今米	0.5 ^{ha}	市街地の中で、ムクノキやアラカシ等がほぼ自然に近い状態で残されている屋敷林で江戸時代に大和川の付替に功勞のあった「中甚兵衛」の出生地。なお、当地区の保全は東大阪市の所管となっている。
おのじんじゃ 男神社 特別緑地保全地区	平成元年 3月3日	泉南市 男里	1.4	泉南市金熊寺川沿いに広がる男神社の社叢は、ムクノキ、クスノキ、エノキ等が主な構成樹種の鎮守の森で、ホルトノキ、ヒメユズリハ等の暖帯性の樹木も見られる。
かがや 加賀屋 特別緑地保全地区	平成5年 12月17日	大阪市 住之江区 南加賀屋	0.5	伝統的及び文化的意義を有する加賀屋新田会所跡は、庭園を中心にクロマツやアラカシ、ウバメガシ等が植栽され、良好な自然環境を形成している。なお、当地区の保全は大阪市の所管となっている。
春日町ヒメボタル 特別緑地保全地区	平成28年 2月29日	豊中市 春日町	1.0	当地区は、市街地の中に位置し、山林や竹林、草地からなる緑地。大阪府レッドデータブックの準絶滅危惧種であるヒメボタルが生息する良好な自然環境が現存している。
合 計			3.4	